令和8年度　全国学力・学習状況調査の結果の概要

印南町教育委員会

Ⅰ　実施状況

（1）調査日　令和8年4月20日（月）～23日（木）：中学校英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」
令和8年4月23日（木）：国語、算数・数学
令和8年4月24日（金）～5月29日：中学校英語「話すこと」

（2）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（3）調査の対象

・印南町立小学校　第6学年　53名
・印南町立中学校　第3学年　44名

（4）調査の内容

・教科に関する調査
小学校調査…国語、算数
中学校調査…国語、数学、英語
・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側に関する調査）
学校に対する調査（学校における指導方法に関する取組、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

2 調査結果の概要

印南町の調査結果の概要を学力調査と質問紙調査別に見ると、次のようになっている。

〔学力調査〕

・全国平均と比較すると印南町の国語、算数・数学の平均正答率は下記のようになっている。
　小学校：国語〔+2.1％〕 算数〔+0.6％〕
　中学校：国語〔+0.1％〕 数学〔+6.0％〕
・小学校国語における知識・技能に関する正答率は全国平均と比較して+3.1％となっており、その中でも「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、+8.2％である。
・小学校国語における思考・判断・表現に関する問題のうち、「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」について課題がある。
・小学校算数における知識・技能に関する正答率は全国平均と比較して+1.7％となっている。
・小学校算数における学習指導要領の領域のうち「変化と関係」及び「データの活用」について課題がある。
・中学校国語における知識・技能に関する正答率は全国平均と比較して-1.0％であり、思考・判断・表現に関する正答率は±0％である。
・中学校数学における知識・技能に関する正答率は全国平均と比較して+5.0％、思考・判断・表現に関する正答率は全国平均と比較して+9.6％となっている。

〔児童・生徒質問紙調査〕

【教科を中心とした学力・学習状況】

小・中学校共に、「国語・算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」等の各教科に関する意識が高い。また、各教科の学習活動においても、「国語・数学の授業で、先生はうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるか教えてくれる」「国語・数学の授業で、先生はあなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれる」の項目は肯定的な回答の割合が全国平均と比較して高い。

【学習習慣・自己有用感等】

小・中学校ともに全国よりも肯定的な回答の割合が高くなっている。
特に「学校に行くのは楽しい」や「自分にはよいところがある」、「先生はあなたの良いところを認めてくれる」等の自己有用感に関する項目は肯定的な回答の割合が全国平均と比較して高い。
学習習慣に関する項目（特に家庭学習）は、全国平均よりも低い。

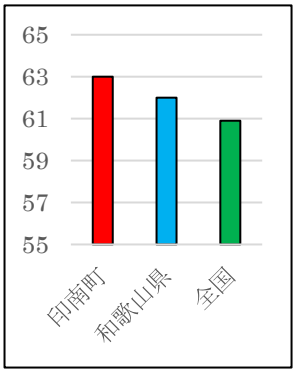
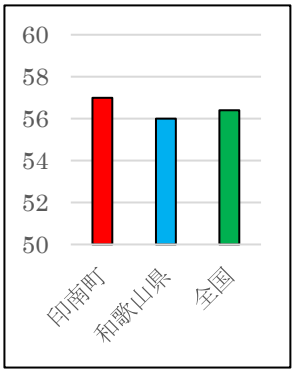
〔学校質問紙〕

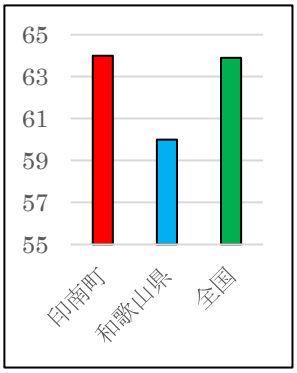
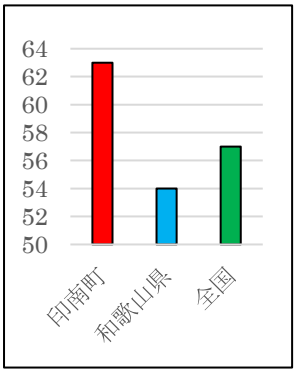
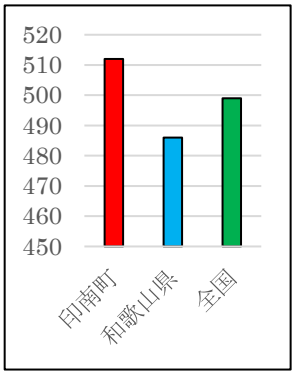
【学校における指導方法に関する取組、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等】

小中学校において、おおむね小中学校ともに全国よりも高いポイントとなっている。
特に、学校における指導方法については、児童生徒の実態に合わせた工夫がなされている。

3 学力調査の結果

(1)平均正答率(%)

	小学6年生	
	国語	算数
印南町	63.0	57.0
和歌山県	62.0	56.0
全国	60.9	56.4
グラフ		

	中学3年生		
	国語	数学	英語
印南町	64.0	63.0	512
和歌山県	60.0	54.0	486
全国	63.9	57.0	499
グラフ			

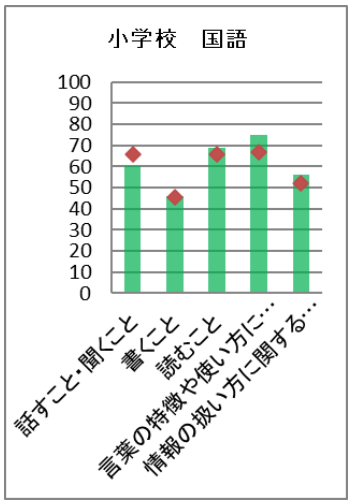
※中学校英語は、CBT が導入され、平均 IRT スコアで結果が示されている。

(2) 領域別正答率　　《 印南町 ◆ 全国 》

【学習指導要領の領域】

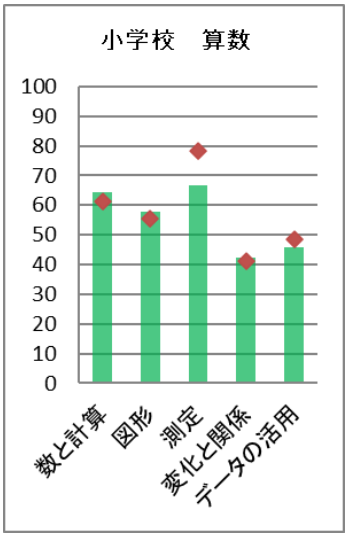
（小学校国語）

- ✧ 話すこと･聞くこと
- ✧ 書くこと
- ✧ 読むこと
- ✧ 言葉の特徴や使い方に関する事項
- ✧ 情報の扱い方に関する事項



（小学校算数）

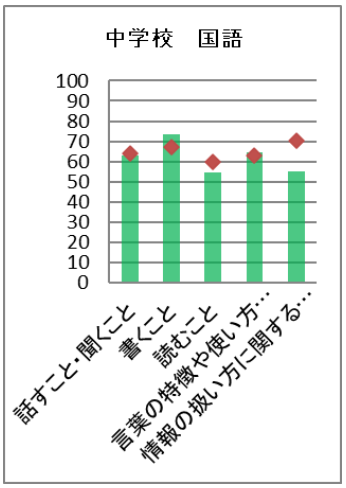
- ✧ 数と計算
- ✧ 図形
- ✧ 測定
- ✧ 変化と関係
- ✧ データの活用



【学習指導要領の領域】

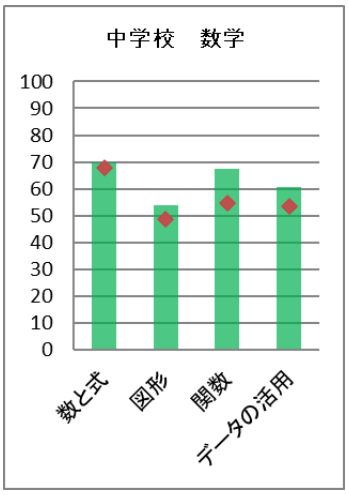
（中学校国語）

- ✧ 話すこと･聞くこと
- ✧ 書くこと
- ✧ 読むこと
- ✧ 言葉の特徴や使い方に関する事項
- ✧ 情報の扱い方に関する事項



（中学校数学）

- ✧ 数と式
- ✧ 図形
- ✧ 関数
- ✧ データの活用



(3) 無解答率 (%)〔平均〕

	小学6年生		中学3年生	
	国語	算数	国語	数学
印南町	0.6	1.8	1.8	3.1
全国	3.4	3.2	4.9	10.4

（4）改善方策

[国語科]

（小学校）

・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する等の学習の充実。

・考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解するための指導の工夫。

（中学校）

・必要に応じて質問しながら話の内容を捉える活動の充実。

・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるようにするための指導の工夫。

・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにする指導の工夫。

[算数・数学科]

（小学校）

・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解するための指導の工夫。

・二次元の表から、条件に合う数を読み取る活動の充実。

（中学校）

・事柄が成り立つ理由をっ文字を使って説明する指導の工夫。

・具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見出すための指導の工夫。

・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を説明する活動の充実。

[全体]

・自他を認め、自己有用感を高めるための指導の工夫。

・資料や文章、話の組み立てなどを工夫し自分の考えがうまく伝わるように発表する機会の充実。

・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動の充実。

・友達と話し合う活動を通じて、考えを深めたり、新たな考えに気付いたりするための活動の充実。

・課題解決に向け、自分で学び方を考え、工夫する等、主体性を育む指導の工夫。

・家庭学習の充実に向けた取り組みの工夫。

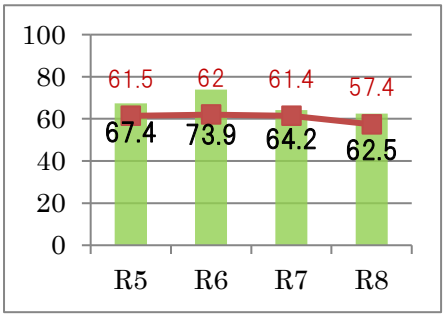
4 質問紙調査の結果

《 単位% 印南町（黒字） 全国（赤字）》

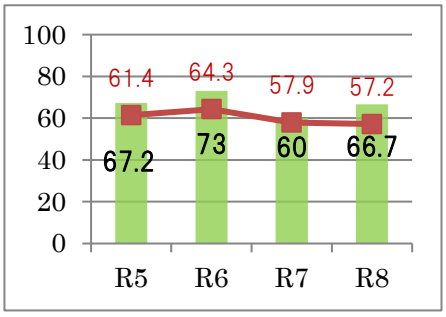
（1）【学習に対する関心・意欲】

①勉強は好きですか
（小学校国語・算数・英語）
（中学校国語・数学・英語）

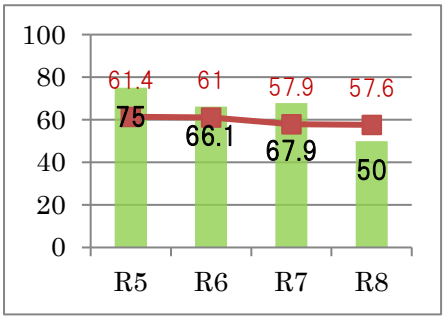
＜小学校国語＞



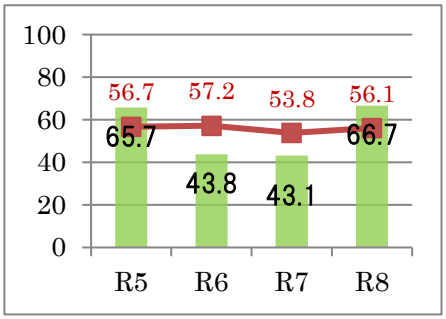
＜中学校国語＞



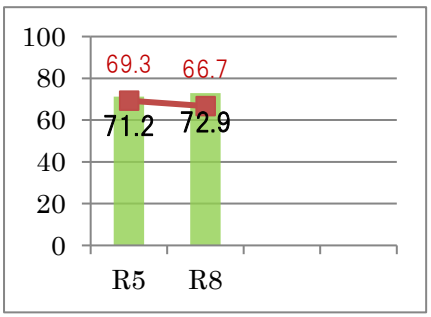
＜小学校算数＞



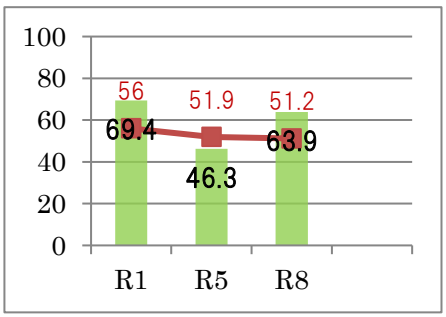
＜中学校数学＞



＜小学校英語＞



＜中学校英語＞



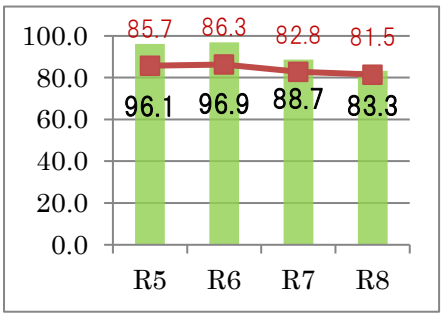
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、国語（小・中学校）、数学（中学校）、英語（小・中学校）において全国平均よりも高いポイントとなった。

②授業の内容はよくわかりますか

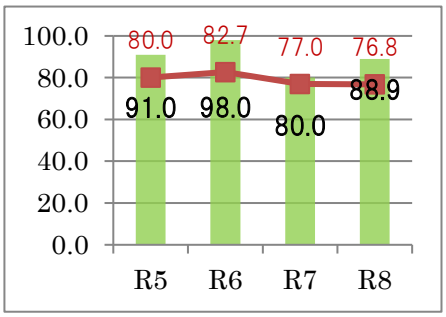
（小学校国語・算数）

（中学校国語・数学）

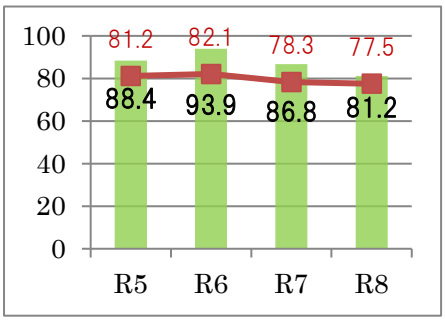
＜小学校国語＞



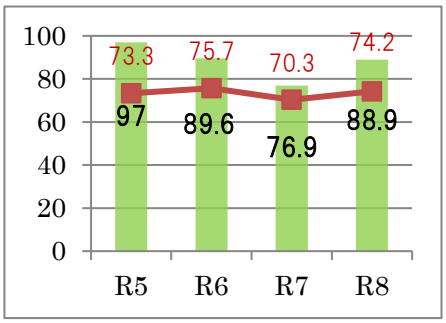
＜中学校国語＞



＜小学校算数＞



＜中学校数学＞



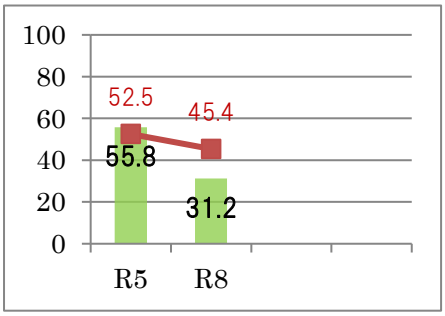
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、すべての教科において全国平均を上回っている。

③将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。

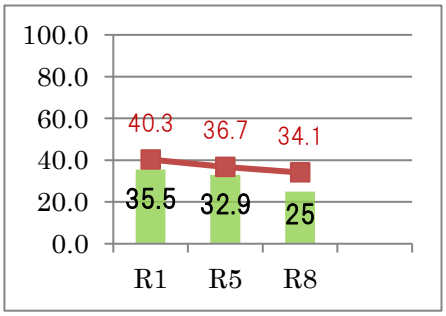
（小学校英語）

（中学校英語）

＜小学校英語＞

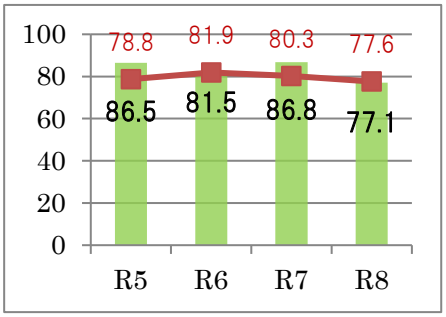
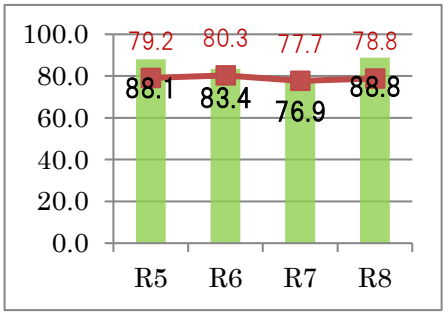
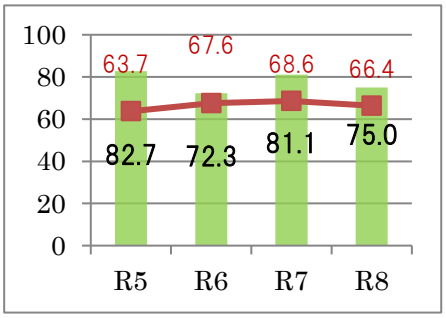
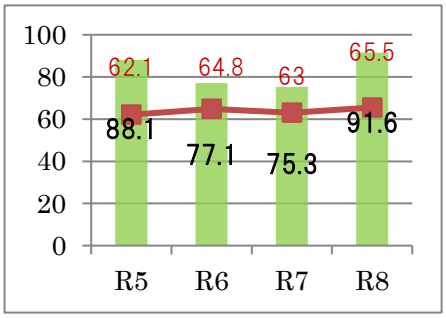


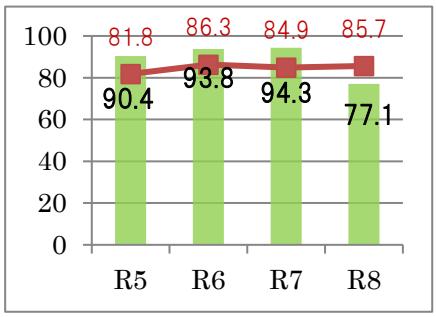
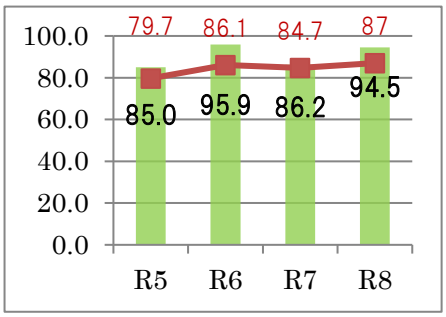
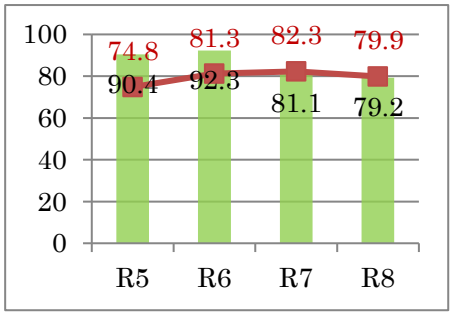
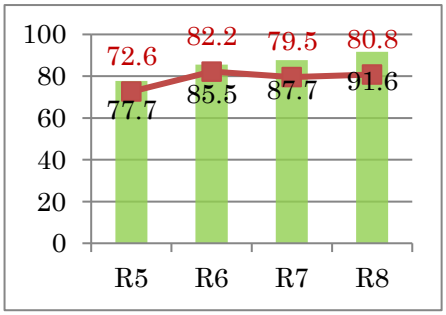
＜中学校英語＞



「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、全国平均を下回っている。

（2）【学習指導】

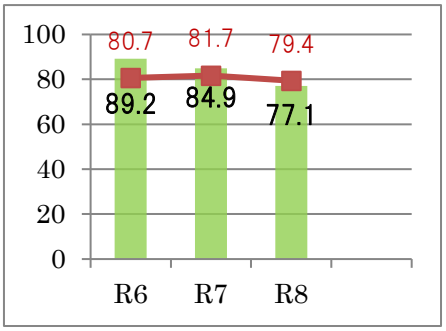
①小５（中１・中２）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、小学校は、全国平均と同程度、中学校は全国平均より上回っている。
②小５（中１・中２）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。

③学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。
④総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、中学校において全国平均を上回っている。

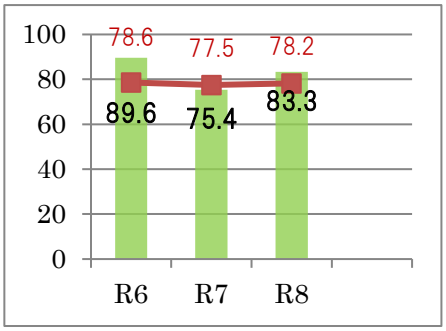
（3）【学習習慣・読書習慣】

①わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

<小学校>



<中学校>



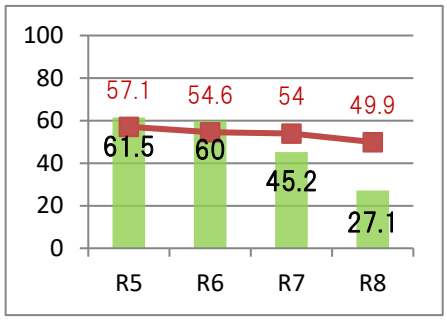
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、中学校において全国平均を上回っている。

②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

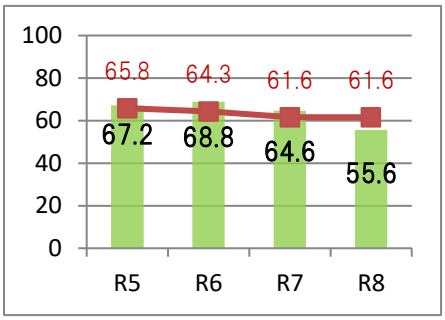
（1時間以上）

※学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。

<小学校>



<中学校>

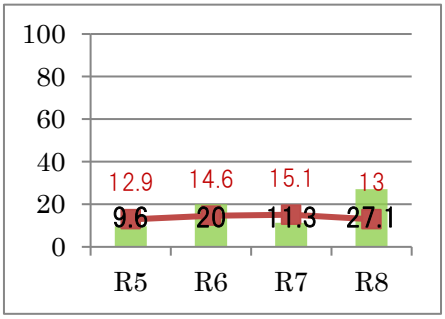


「1時間以上」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

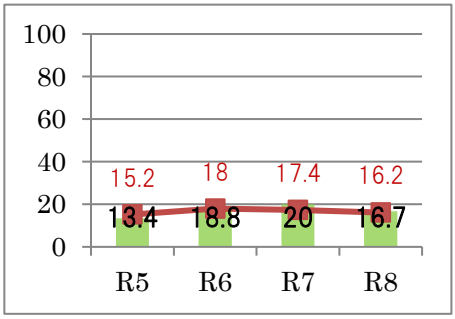
③あなたの家にはどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

（0～10冊）

<小学校>

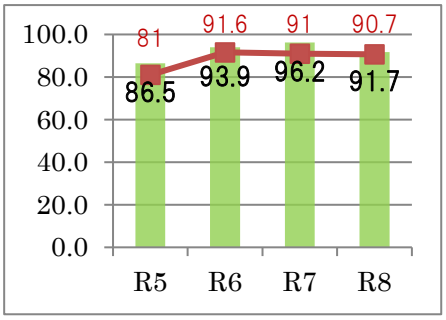
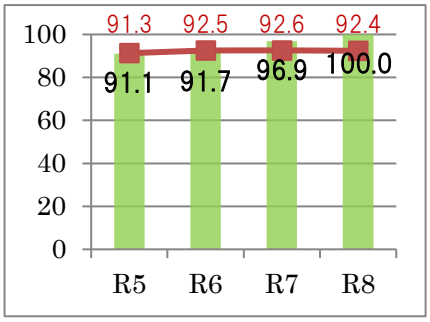
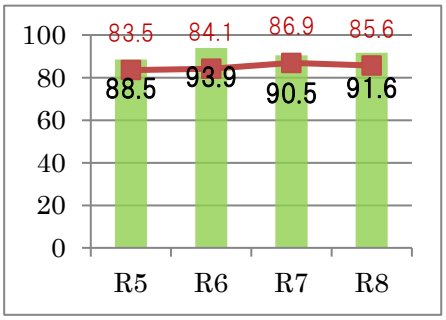
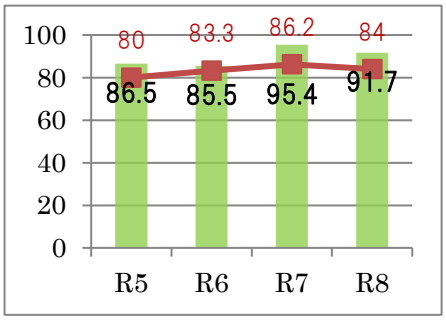
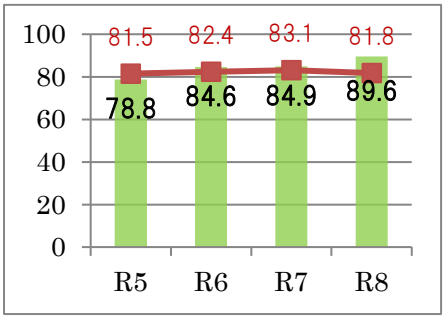
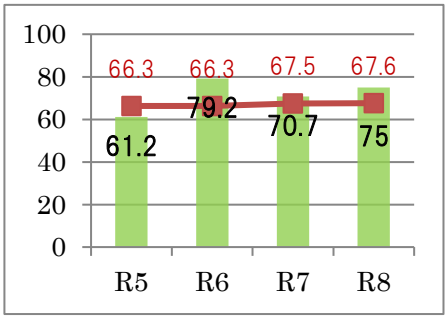


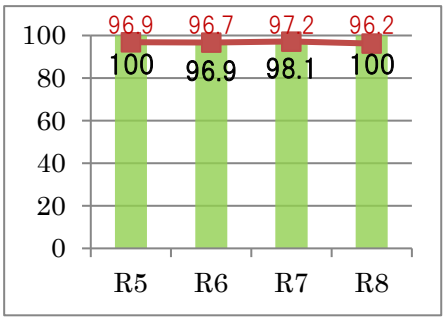
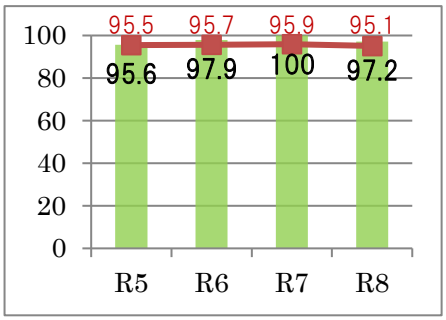
<中学校>



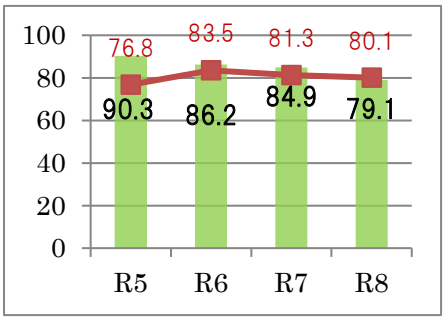
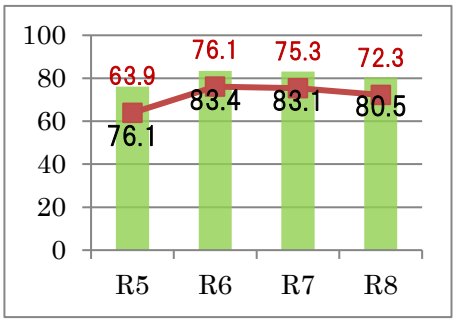
「0～10冊」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。

（4）【生活習慣・自己有用感】

①毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	<小学校>  <中学校>  「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合は、小中学校ともに高いポイントとなっている。
③自分には、よいところがあると思いますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は小・中学校ともに全国平均よりも上回っている。
③将来の夢や目標を持っていますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は小・中学校ともに全国平均を上回っている。

④いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は小・中学校ともに非常に高いポイントとなっている。

（5）【地域とのつながり】

①地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	<小学校>  <中学校>  「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、中学校において全国平均よりも上回っている。